

月のおはなし



9月29日は「十五夜（じゅうごや）」です。「中秋の名月（ちゅうしゅうのめいげつ）」とも呼ばれています。秋のきれいな月を見ながらおだんごを食べるおつきみは、秋の収穫（しゅうかく）に感謝する意味をこめて行われていました。



おつきみ

あまんきみこ / 作 黒井健 / 絵

ひさかたチャイルド

十五夜の日、えっちゃんはおかあさんのおてつだいをしながらおつきみをたのしみにしていました。しかし空にはおおきなくもが。えっちゃんがこねこのミュウといっしょにおもちやぼこにのってくもさんのもとにむかうと…？ふしぎなぼうけんを楽しめるおつきみ絵本で

月にいったら
うきっぱなし！？

月でたんじょう パーティーをひらいたら

ジョイス・ラパン / 文

シモーナ・チェッカレッリ / 絵

原田勝 / 訳 縣秀彦 / 監修 あかつき教育図書

月でパーティーをひらいたらどうなるんだろう。ケーキは？プレゼントは？どうやってあそぶ？でも、きっととってもすてき！たのしく読みながら宇宙と月のひみつをまなべる絵本です。



お月さまって
いっぱいあるの？

たくさんのお月さま

ジェームズ・サーバー / 作

なががわ ちひろ / 訳

ルイス・スロボドキン / 絵 徳間書店

病気になってしまったレノア姫の「お月さまがほしい」という願いをきいた王様は、大臣、まほう使い、数学の大先生を呼びつけます。みんなむりだと首をふりますが、そこへやってきた道化師には、どうやらなにか考えがあるようです。

